

しょうらいのゆめ

将来の夢
future dream

七郷小学校 6年

大久保日菜多さん

私のしょう来の夢は、ピアノの先生になることです。

私は保育園の年中からピアノを習い始めました。その時はまだ、音符も読めませんでした。でもピアノの先生が私にわかるように、ていねいに教えてくれました。それに自分のペースに合わせて、レッスンをしてくれました。私も、ぜひ先生になって生徒のみんなに分かるようにていねいに教えてあげたいです。

そのためには、今たくさん練習をして、ピアノをもっともつと好きになりたいです。

イラスト
地域活動支援センター
「はあとぼっぼ」 ほん太さん

ばんどう文芸

短歌

遠き日の通学の折りに見かけたり俳句を詠む人野に佇むを

【評】 少女時代の追憶。「俳句を詠む人」を偲ぶと同時に自分の人生を省みている。今、歌を詠む自身が「野」に佇む姿は抒情豊か。

「まあいいか」年重ねるに増す言葉老後を生きる知恵となりたり

定時制四年通いし学び舎が老いたるわれの夢に浮かび来

風立ちて花びら巻き上げ花散らす風の遊べる風の悪戯

陽光を入れむとビニール畑に立つ農夫を春の光がはじく

孤は高く花万灯のしだれ梅地に着く様に見惚れて居りぬ

シャクナゲもボタンの花も咲き誇りライバル心は花にも有るよ

原産の収束容易ならざれば食の安全に気配りあまた

初参り笠間稲荷に鳥居なくまぎまぎと見つ地震のきざあと

花筏川一杯に浮かびけり見事絵巻となって流れる

俳句

花咲けば花の巡礼始めけり

【評】 花といえば「桜」朝によし、夕べにもよし、散り際もまた潔い。一句は巡礼「巡」には回り歩くという意味があります。名所旧跡の様々な桜に感動する姿が伝わります。

初桜ばんぼりに灯の入りけり

花見船スカイツリーを供として

ひっそりと径あり三色堇かな

人の世の栄枯盛衰さくら散る

村里の芽吹き朝の心地よし

花冷のひと日も暮れる厨事

春しぐれ裾をからげて僧通る

子供等に五月の風の吹く日かな

沙羅の芽の森に日射しの柔らかし

新緑に染りて一句生れけり

林 秀峰 選

借宿 木村 歌子

岩井 中川 達男

矢作 米島 欣司

長須 平田とみい

岩井 林 きよ子

長谷 滝本 和子

岩井 鈴木 由美

生井 鈴木 幸一

岩井 齊藤 隆

矢作 茂呂 忠男

長須 古沢とみ江

今井 清 選

弓田 市川 悦子

生子 稲毛田二三子

岩井 楠原 久三

沓掛 木村 愛子

馬立 古矢 美世

逆井 鈴木 さわ

長須 倉持 春子

沓掛 倉持 かよ子

上出島 海老原 琴

長谷 滝本 和子

短歌・俳句の作品を募集します！

皆さんからの短歌や俳句を広く募集します。投稿されるかたは、住所・氏名・年齢・電話番号を記入し、毎月20日までに届くように各選者宛にお送りください。

選者 短歌 今井 清 〒306-0604 幸田新田435 ☎0297(35)2864
俳句 林 秀峰 〒306-0631 岩井4633-1 ☎0297(35)1230